

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料2-1

令和 年 月 日

協議会名:当別町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
当別町地域公共交通活性化協議会	JR当別駅南口～とうべつ整形外科～みどり野会館(青山線①) 運行日数 364日 運行回数 1,214回 運賃 1回200円	バスの位置情報等を閲覧できるLocalMaaSアプリ「とべナビ」や感染症対策の取り組みに関する情報を年2回住民に向けて配布している時刻表に掲載し利用促進を図った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり適正に実施された。	C 年間利用者数 目標 5,500人 実績 5,372人 新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた利用が回復傾向にあったが、沿線地域の人口減少等により、目標を達成できなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にあるものの、コロナ禍前と比べると利用者は減少しており、同時に人口減少も進んでいる地域であることから利用者の絶対数も減少しているため、ダイヤや運行形態の見直しについて検討する。
当別町地域公共交通活性化協議会	JR当別駅南口～とうべつ整形外科～青山会館(青山線②) 運行日数 245日 運行回数 976回 運賃 1回200円		A 事業が計画に位置付けられたとおり適正に実施された。		
当別町地域公共交通活性化協議会	JR当別駅南口～当別町内～JR当別駅南口(市街地予約型線) 運行日数 245日 運行回数 1,093回 運賃 1回200円 【車両減価償却費等国庫補助】	更なる利用促進を図るため、年2回住民に向けて配布している時刻表に市街地予約型線の利用方法を掲載した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり適正に実施された。	C 年間利用者数 目標 4,051人 実績 3,013人 交通弱者の利用者数 目標 3,800人 実績 1,778人 新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者が想定より回復しなかったことに加え、通勤通学利用者の移動手段変更等による利用減少により、目標達成出来なかった。	運行形態や運行エリアの見直しについて検討するとともに、利用方法の周知や地域でのモビリティ・マネジメントを実施する。
当別町地域公共交通活性化協議会	北欧の風道の駅とうべつ～JR太美駅～ヒルズE5-3-17(西当別道の駅線) 運行日数 364日 運行回数 1,698回 運賃 1回200円	バスの位置情報等を閲覧できるLocalMaaSアプリ「とべナビ」や感染症対策の取り組みに関する情報を年2回住民に向けて配布している時刻表に掲載し利用促進を図るとともに、地域の実態に合わせて随時ダイヤの見直しを行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり適正に実施された。	A 年間利用者数 目標 5,600人 実績 7,061人	目標は達成できたものの、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者離れが解消した訳ではないため、引き続きダイヤの見直し等、更なる利用促進に努める。
当別町地域公共交通活性化協議会	北欧の風道の駅とうべつ～JR太美駅～太美スターライト中央(スターライト道の駅線) 運行日数 364日 運行回数 546回 運賃 1回200円				